

令和7年度 山口県立農業大学校 学校評価シート

〔重点目標〕

- | | |
|------------|------------------------|
| ①担い手の確保・育成 | ②新規就農・就業者の確保・育成（農業・林業） |
| ③土地利用学科の運営 | ④園芸学科学修の充実 |
| ⑤畜産学科学修の充実 | ⑥効率的な業務運営体制の構築 |
| ⑦危機管理の徹底 | |

重点目標	達成目標・評価指標	中間評価 ・ 達成見込み 達成度(1-10)	外部評価と次年度改善策 ※詳細は別紙
■学生教育 担い手の確保・育成	● 中学校への農大魅力発信 （職業体験実施校への学校説明会実施100%） ● 高等学校等と連携の取組実施(5項目実施100%) ● 進路確定（2年生）就職率100%		
■社会人研修 新規就農・就業者の 確保・育成（農業・林 業）	◎ 農業 ● 定員確保 （短期入門研修40名・作目基礎研修70名） ● 進路確保 （担い手養成研修生進路確保100%） ◎ 林業 ● 確実な研修生育成（修了率100%）		
■土地利用学科の運営 学科運営方法等の 確立	● 水稲・露地野菜生産プロジェクト学修：10課題 ● 農業法人等での現地実習：10回/1人 ● トヨタ生産方式による現場改善：5テーマ		
■園芸学科学修の充実 野菜・花き・果樹の 各種技術実証の学修	● オリジナル品種・技術の実証学修：4件 ● 農薬残留分析（2検体/年：トマト・ブドウ） ● JGAP 維持審査（トマト・ミニトマト・ブドウ）		
■畜産学科学修の充実 酪農・肉用牛経営の 安定を図る技術実証の 学修	● 2年生人工授精実施：1頭/1人以上実 践 ● 1年生人工授精師免許取得：1年生4名 ● スマート畜産の実践による個体管理 分娩間隔：酪農452日以下 肉用牛418日以下		
■効率的な業務運営体 制の構築 「「やまぐちワークスタイル フト」の推進）	● 課、グループ、室単位に業務平準化等 による36協定の遵守（時間外勤務縮減） ・特別延長(月65h、年450h以内)の達成		
■危機管理の徹底	● 所属職員連絡系統の周知による危機管理 の徹底 ・感染症や災害等への対応の徹底		